

日本アジア投資株式会社 2018年3月期 第3四半期 決算補足資料

決算発表日：2018年2月13日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 2018年3月期第3四半期の実績(従来連結基準)	P4
3. 営業活動の状況	P15
4. 通期の業績見込	P24
参考情報	P25

✓ 2018年3月期第3四半期の実績 (従来連結基準)

- ・ 前年同期比11.4% 増収、229.1%増益
- ・ 再生可能エネルギープロジェクト売却益11億円が貢献

✓ 営業活動の成果

- ・ ファンド新設: 事業承継型バイアウトファンド10億円
- ・ 新規投資実行: 23件、33億円
- ・ 売電開始プロジェクト: 6件、20.4MW

✓ 2018年3月期 通期の業績見込 (従来連結基準)

- ・ 期初見込に変更なし、3期連続最終黒字を目指す
- ・ 第4四半期に株式やプロジェクトの売却益を見込む

2. 2018年3月期第3四半期の実績（従来連結基準）



業績数値

ハイライト	P5
営業収益・原価内訳	P10
業務別 詳細	P11

2. 2018年3月期第3四半期の実績-ハイライト P/L (従来連結基準)



	2017/3期3Q 実績		2018/3期3Q 実績			2018/3期 通期業績見込値	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率	金額 (百万円)	進捗率
営業収益	2,831	100.0%	3,154	100.0%	11.4%	4,700	67.1%
営業原価	1,455	51.4%	1,773	56.2%	21.8%	2,650	66.9%
営業総利益	1,375	48.6%	1,381	43.8%	0.4%	2,050	67.4%
販管費	1,034	36.5%	922	29.2%	△10.8%	1,300	71.0%
営業利益	341	12.1%	458	14.6%	34.4%	750	61.2%
経常利益	194	6.9%	334	10.6%	71.8%	550	60.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	73	2.6%	240	7.6%	229.1%	470	51.3%

- ✓ 再生エネプロジェクトの売却が貢献し11.4%増収、
投資先企業の評価損・引当金による売却原価の増加を補う
- ✓ 販管費のうち支払成功報酬の減少などにより229.1%増益
- ✓ 通期見込進捗率：営業収益67.1%、最終利益51.3%
- ✓ 第4四半期の売却益で通期見込達成を目指す

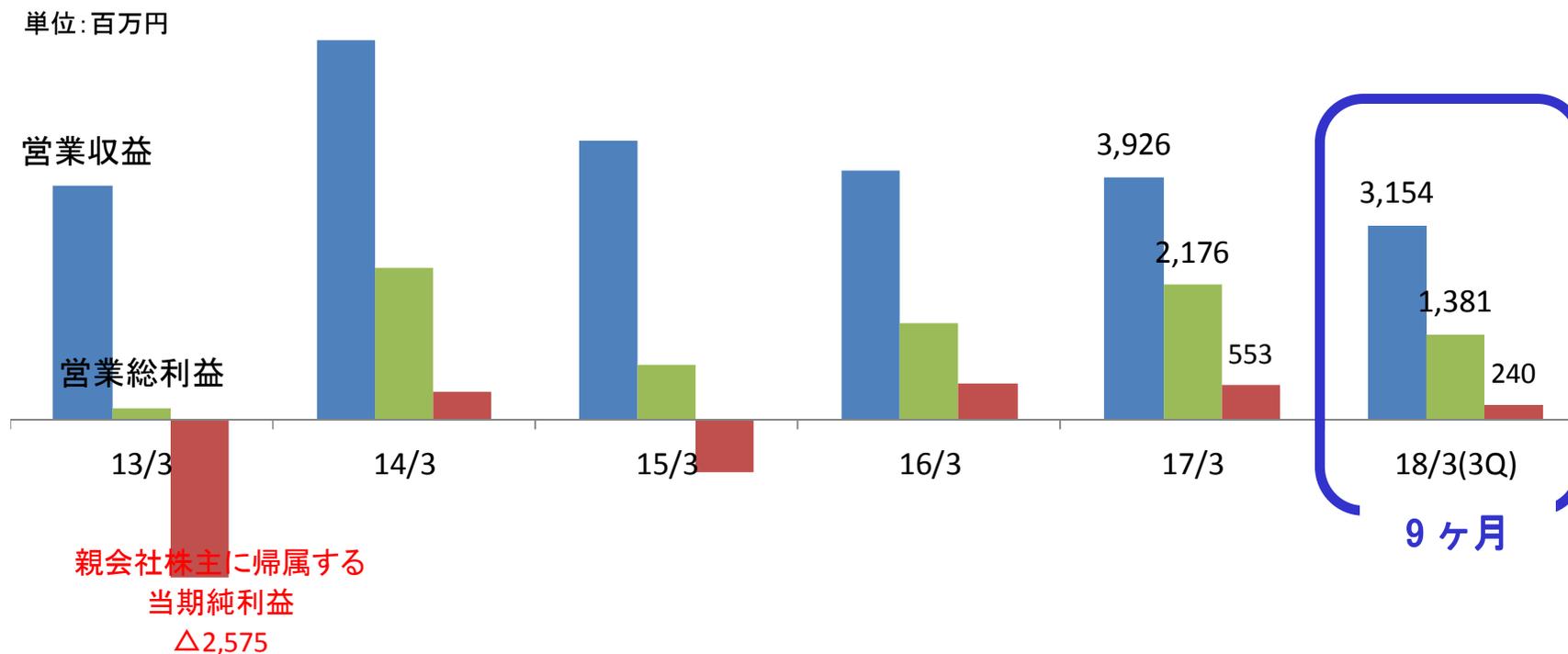
2. 2018年3月期第3四半期の実績-ハイライト B/S (従来連結基準)



	2017/3期末実績		2018/3期3Q 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
総資産	20,305	100.0%	18,612	100.0%	△8.3%
うち 現預金	6,213	30.6%	4,559	24.5%	△26.6%
うち 営業投資有価証券 (再生可能エネルギー他)	4,081	20.1%	4,466	24.0%	9.4%
うち 営業投資有価証券 (プライベートエクイティ 引当後)	7,356	36.2%	7,112	38.2%	△3.3%
借入金・社債	14,128	69.6%	11,954	64.2%	△15.4%
自己資本	5,686	28.0%	5,839	31.4%	2.7%

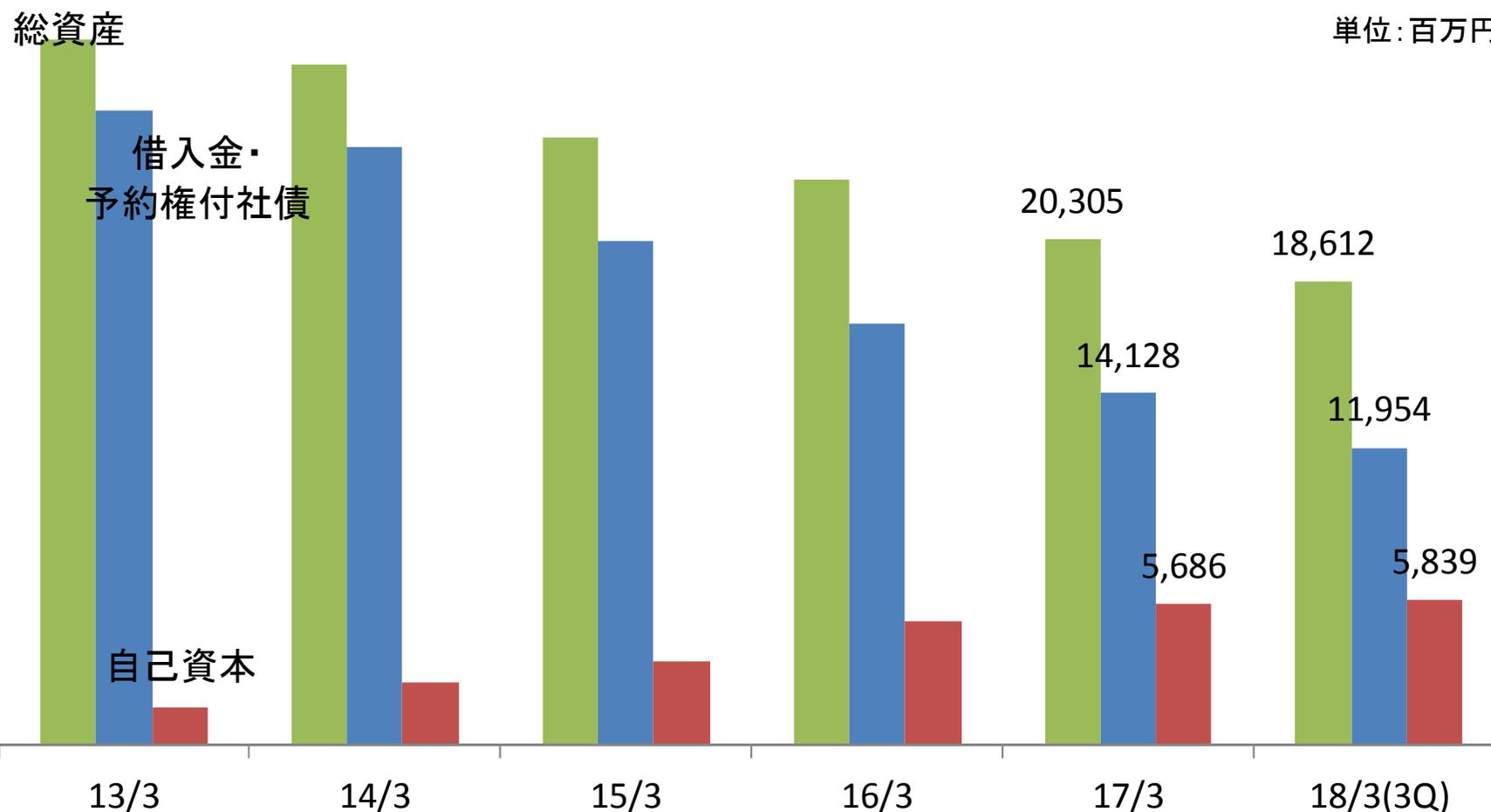
- ✓ 事業拡大に伴い再生可能エネルギー投資資産が9.4%増加
- ✓ 借入金・社債残高119億円、ピーク時460億円から73.9%削減

2. 2018年3月期第3四半期の実績-ハイライト P/L推移（従来連結基準）



業績回復、黒字が定着

2. 2018年3月期第3四半期の実績-ハイライト B/S推移（従来連結基準）



借入金の圧縮・自己資本増強を推進

2. 2018年3月期第3四半期の実績 - ハイライト - キャッシュ・フロー



(ファンド連結基準)

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	9ヶ月 18/3(3Q)
営業活動によるCF	1,196	3,624	511	974	1,406	△180
投資活動によるCF	277	437	213	470	△5	197
財務活動によるCF	△2,838	△1,424	△3,224	△1,404	△2,469	△2,173
CF増減額	△1,259	2,758	△2,371	△26	△1,100	△2,155
期末残高	5,554	8,313	5,942	5,915	4,815	2,659

- ✓ 営業活動によるCF: 投資実行により1.8億円の支出
- ✓ 財務活動によるCF: 借入金の返済により21.7億円の支出
- ✓ 投資資産を回収して、返済原資と、新規の投資資金を捻出
- ✓ 十分な回収額が確保できておらず手許のキャッシュで補うため、期末のキャッシュ残高は減少傾向が続く

2. 2018年3月期第3四半期の実績-営業収益・原価内訳(従来連結基準)



		2017/3期3Q 実績	2018/3期3Q 実績	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
営業収益		2,831	3,154	11.4%
ファンド運營業務	管理運営報酬等	263	208	△21.0%
	成功報酬	46	86	87.4%
投資業務	(A)営業投資有価証券売却高	2,135	1,457	△31.7%
	組合持分利益等	343	1,339	290.3%
	利息・配当収入	26	34	29.8%
その他	その他営業収益	16	27	72.7%
営業原価		1,455	1,773	21.8%
投資業務	(B)営業投資有価証券売却原価	1,363	1,219	△10.6%
	(C)営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	73	534	626.1%
	組合持分損失等	13	15	11.5%
その他	その他営業原価	4	4	△10.7%
営業総利益		1,375	1,381	0.4%
実現キャピタルゲイン	(A)△(B)	772	238	△69.1%
投資損益	(A)△(B)△(C)	698	△295	-

- ① 好パフォーマンスのファンドが発生 ⇒ ファンド運營業務: 成功報酬増加
- ② 大型の株式売却なし ⇒ 投資業務: 売却高・実現キャピタルゲイン減少
- ③ 再生可能エネ売却益11億円獲得 ⇒ 投資業務: 組合持分利益等が増加
- ④ 破綻・業況悪化した投資先が発生 ⇒ 投資業務: 評価損・引当繰入額が増加

2. 2018年3月期第3四半期の実績-投資業務-事業別内訳(従来連結基準)

(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ事業		再生可能エネルギー投資事業	
	2017/3期3Q 実績	2018/3期3Q 実績	2017/3期3Q 実績	2018/3期3Q 実績	2017/3期3Q 実績	2018/3期3Q 実績
投資業務 営業収益	2,505	2,831	2,016	652	488	2,179
営業投資有価証券売却高	2,135	1,457	1,860	627	① 275	830
組合持分利益等	343	1,339	131	13	212	1,325
利息・配当収入	26	34	25	11	1	23
投資業務 営業原価	1,450	1,768	1,180	947	270	821
営業投資有価証券売却原価	1,363	1,219	1,093	400	270	818
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	73	534	73	534	② -	-
組合持分損失等	13	15	13	12	-	2
投資業務 営業総利益	1,054	1,062	836	△294	218	1,357

✓ 業績変動の大きいプライベートエクイティ事業(PE)の下振れを再生可能エネルギー投資事業(再生エネ)が下支え

- ①PE: 売却高: 国内投資先のIPO延期、海外での相対売却未達等により減少
- ②PE: 評価損・繰入額: 一部の破綻・業況悪化した国内投資先に対して発生
- ③再生エネ: 売却高・原価: 両建で8億円発生、売却益は「組合持分利益等」へ
- ④再生エネ: 組合持分利益等: うち売却益11億円、売電収益等2億円

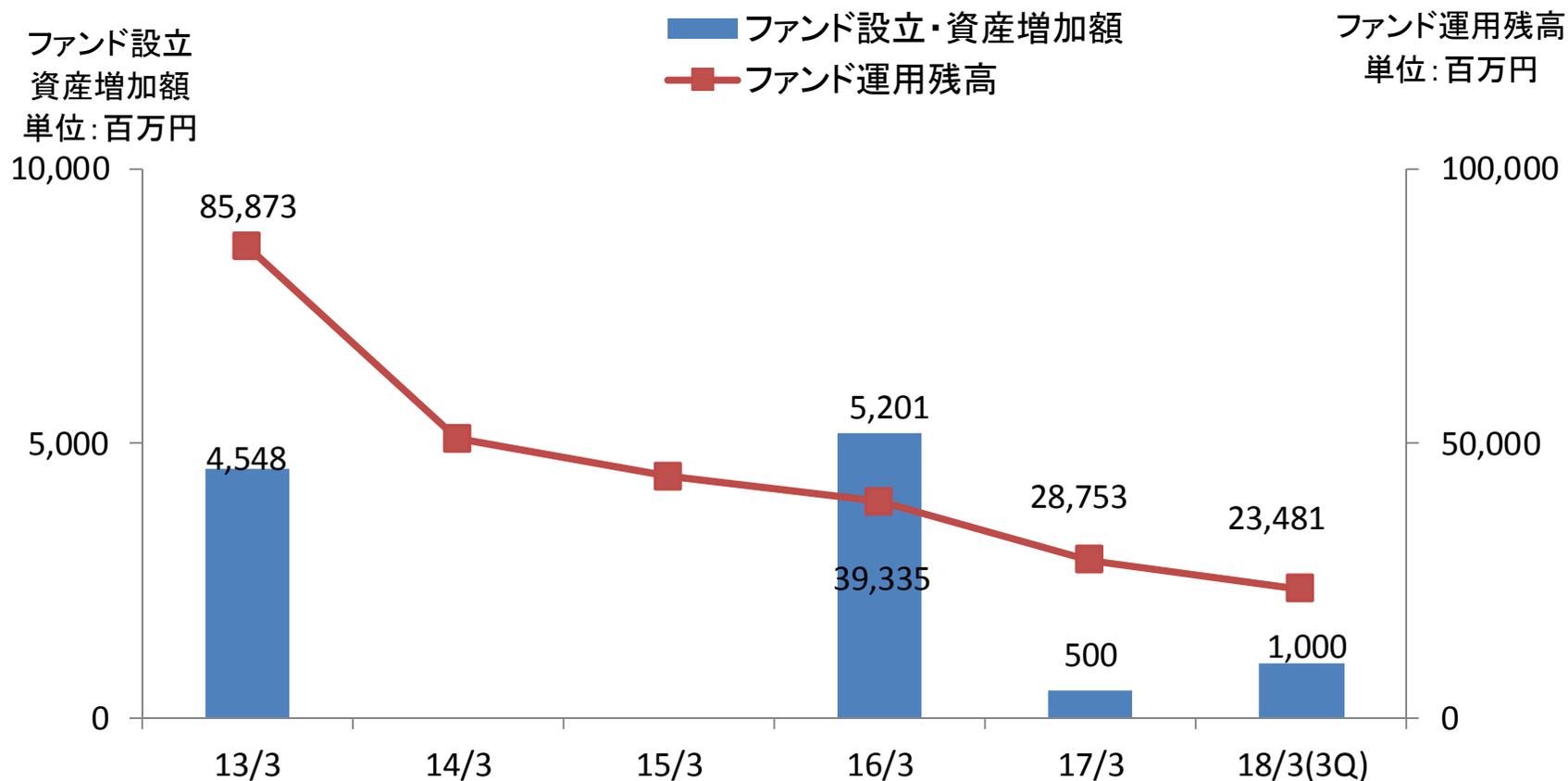
2. 2018年3月期第3四半期の実績-投資業務-売却プロジェクト一覧



発電所名	最大出力	固定買取価格(税抜)	売却時期
伊勢市柏町赤目 太陽光発電所 (三重県)	2.1MW	32円/kWh	2017年6月
伊勢市柏町岡山 太陽光発電所 (三重県)	0.9MW	32円/kWh	2017年6月
亀山白木町 太陽光発電所 (三重県)	1.3MW	36円/kWh	2017年8月
吉野町 太陽光発電所 (奈良県)	31.7MW	36円/kWh	2017年9月
合計	36.0MW (うち当社持分相当 22.0MW)		

- ✓ 4件、36.0MWのプロジェクトを売却
- ✓ 大型プロジェクトの売却を実現

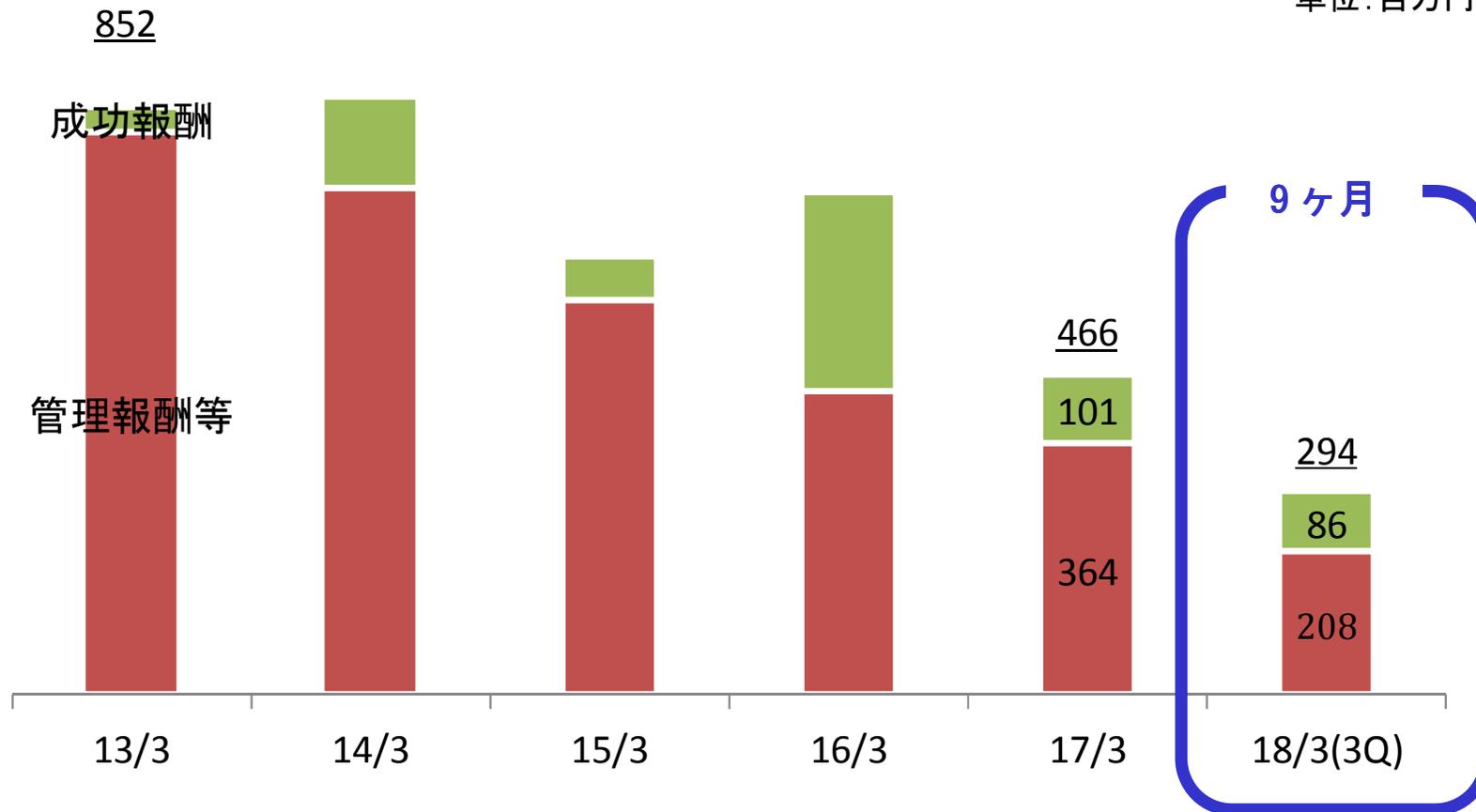
2. 2018年3月期第3四半期の実績-ファンド運営業務 - 運用残高



- ✓ 事業承継型バイアウトファンド10億円を新規設立
- ✓ ファンドの満期や減額の影響を受け運用残高は減少

2. 2018年3月期第3四半期の実績-ファンド運営業務-報酬(従来連結基準) JAIC

単位:百万円



- ✓ ファンドの運用残高の減少に伴い管理報酬等が減少
- ✓ 国内外で好パフォーマンスのファンドから成功報酬を受領

3. 営業活動の状況



期初計画の進捗状況 P16

プライベートエクイティ事業 P17

再生可能エネルギー投資事業 P19

3. 営業活動の状況 - 期初計画の進捗状況



プライベートエクイティ事業 ファンド設立・領域拡大

- ・ 事業承継型バイアウトファンド「サクセッション1号」設立
- ・ ファンド規模拡大に向けて募集活動を継続

再生可能エネルギー投資事業 高採算プロジェクトへの投資

- ・ 新規メガソーラープロジェクトへの投資実行4件
- ・ 太陽光以外の再生可能エネルギーへの取組を推進
- ・ バイオマス発電所売電開始、バイオガスへの投資実行1件

First Easternとの 協業推進

- ・ 推進のための部署を新設
- ・ ファンド設立や共同投資に向けた投資候補先を開拓

売却益の獲得

- ・ 4件、36.0MWの再生エネルギープロジェクト売却益11億円を獲得
- ・ IPO延期や大型の相対売却実現できず株式売却益は減少

投資実行額合計 12社、11億円

QOL



レグイミュン
免疫制御剤の創薬



細胞の持つ潜在能力を科学する

セルアクシア
新医薬品、再生医療等製品

他 環境関連 2社

IT



ジェナ
IoTによる位置情報管理
AIチャットボット



CROCO
記事作成特化型
クラウドソーシングサービス



瀋陽安新自動化制御
IoTによる空調制御システム

他 IoT関連 1社

サービス



贝尔猫

瀋陽貝爾猫教育信息諮詢
STEM教育理念による
幼児向け科学実験教室



日本総険
保険仲立人

他 1社

機械・精密機器



株式会社 翔栄

— タッチパネルの開発・製造・販売 —

翔栄
車載タッチパネル

3. 営業活動の状況 - プライベートエクイティ事業 - 投資先の事業進捗事例 JAIC



メガカリオン

(ヒトiPS細胞由来の血小板製剤)

37億円の資金調達に成功

産業革新機構を始めとする投資会社、
大塚ホールディングスグループ等の
事業パートナーが出資



Genomix Co Ltd

世界初「再生誘導医薬」の実現を目指して

ジェノミックス

(再生誘導医薬*)

10億円の資金調達に成功

医療ポータルサイト運営のエムスリー、
ベンチャーキャピタルが出資

※再生誘導医薬: 生体が本来備えている「損傷した組織を自ら修復し再生する能力」を活用した医療。様々な組織に分化することが可能な「幹細胞」の供給量を増やす医薬を投与して、幹細胞による損傷組織の再生を加速させる。



グローバルトラストネットワークス

(外国人専門の生活総合支援)

丸井グループと協業

国内初の外国人専用クレジットカード
『GTNエポスカード』を発行



MTES株式会社

MTES Co., LTD

MTES

(IoTソリューション)

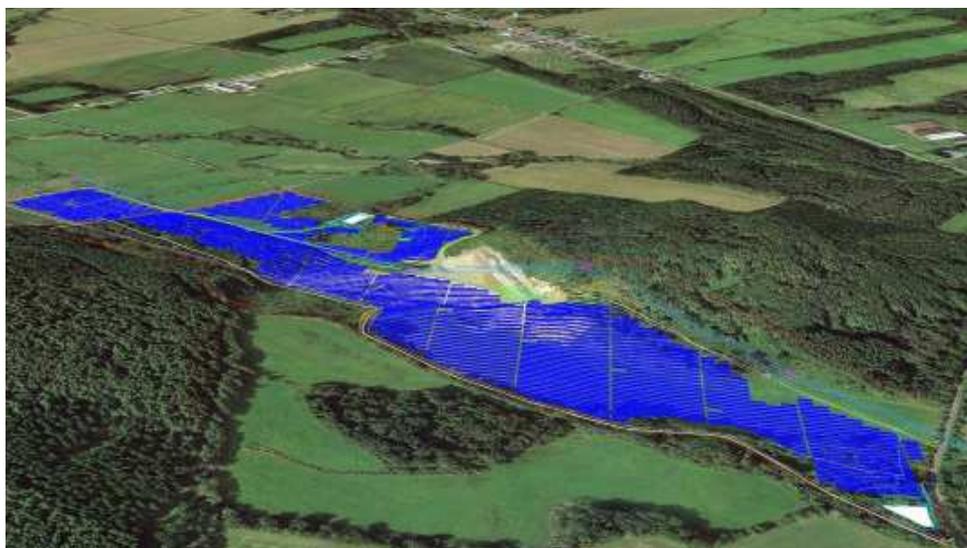
台湾上場企業の通信・ネットワーク機器大手
エディマックス社と業務提携

構造物の劣化を正確に把握する「構造ヘルスマニタリング」
を日本、米国、中国、台湾で展開

投資実行額合計 11件、22億円

新規投資プロジェクト 事例紹介 ①

北海道紋別市の大型(15.7MW)メガソーラー



完成予想図 データ提供:スマートソーラー(株)

発電所名称:紋別市弘道太陽光発電所

最大出力 :約15.7MW
(※太陽電池パネル設置容量ベース)

想定年間発電量:約1,650万kWh
(※一般家庭約5,000世帯分の年間電力使用量相当)

総事業費 :約66億円
(※当社・スマートソーラーからの投資資金の他、金融機関からのプロジェクトファイナンスにより調達)

固定買取価格 :40円/kWh(税別)

- 8.3MWhの高容量リチウム蓄電池を用いた出力制御システムを導入
- スマートソーラー(株)との共同投資
- 金融機関からのプロジェクトファイナンス

3. 営業活動の状況-再生可能エネルギー投資事業-新規プロジェクト事例② JAIC

「発電」と「農作物栽培」とで太陽光をシェアする 『ソーラーシェアリング』



発電所名称	: 一関市吉高太陽光発電所、一関市鈴ヶ沢太陽光発電所		
所在地	: 岩手県一関市藤沢町		
最大出力	: 約5.3MW	※2か所合計。以下同じ。	太陽電池パネル設置容量ベース
想定年間発電量	: 約608万kWh	※一般家庭約1,268世帯分の年間電力使用量相当	

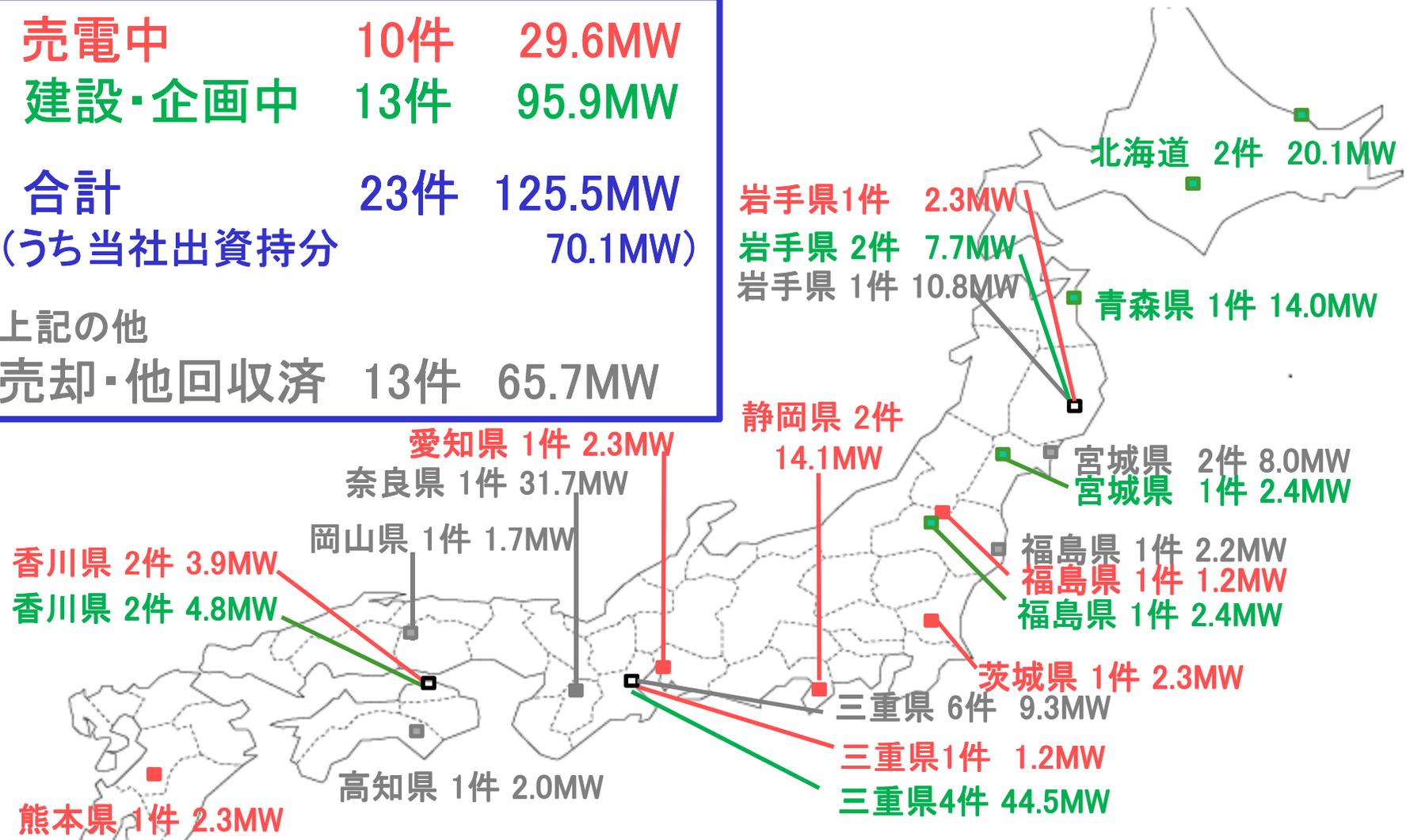
- 農地に支柱を立てパネルを設置、その下で小麦・大麦を栽培
- リニューアブル・ジャパン(株)、東急不動産(株)との共同投資
- (株)東北銀行によるプロジェクトファイナンス、三菱電機システムサービス(株)によるEPC*

*EPC: Engineering, Procurement and Construction: 設計・資材調達・建設

*完成予想図 データ提供: リニューアブル・ジャパン(株)

3. 営業活動の状況-再生可能エネルギー投資事業-メガソーラー投資実績 JAIC

売電中	10件	29.6MW
建設・企画	13件	95.9MW
合計	23件	125.5MW
(うち当社出資持分)		70.1MW
上記の他		
売却・他回収済	13件	65.7MW



※1 RJAエナジー投資事業有限責任組合からの投資分を含めております。

※2 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

期中売電開始 6件、合計20.4MW



静岡県伊豆の国市浮橋
太陽光発電所 2.8MW



香川県野間池
ソーラー発電所 2.4MW



三重県多気町野中
太陽光発電所 1.2MW



香川県御田神辺池
ソーラー発電所 1.5MW



福島県猪苗代
太陽光発電所 1.2MW



静岡県伊豆の国市北江間
太陽光発電所 11.3MW

3. 営業活動の状況-再生可能エネルギー投資事業-太陽光以外の取組

2018年1月 当社初のバイオマス発電所が売電開始

～多様な再生可能エネルギーへの取り組みを推進～



データ提供: バイオマスパワーテクノロジー(株)

発電所名称:

バイオマスパワーテクノロジーズ
松阪木質バイオマス発電所

運営会社:

バイオマスパワーテクノロジーズ(株)

所在地 : 三重県松阪市小片野町

発電規模: 1.99MW ※発電端出力ベース

想定年間発電量: 約1,394万kWh

※一般家庭 約4,000世帯分の年間電力使用量相当

使用燃料: 木質チップ年間約3万トン

総事業費: 約18億円

※投資資金の他、金融機関による事業融資で調達

- 大手事業会社と共に、運営会社のバイオマスパワーテクノロジーズ(株)に投資
- 近隣の既存バイオマス発電所で発生する、樹皮などの廃棄物を燃料として活用
- 松阪市の木材コンビナートが手掛ける「ウッドピア木質バイオマス利用協同組合」と連携
地域の間伐材を中心とした燃料の安定供給を受ける

4. 通期の業績見込 - 2018年3月期の業績見込値(従来連結基準)



従来連結基準	2018/3期見込		2018/3(3Q)実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	進捗率
営業収益	4,700	100.0%	3,154	100.0%	67.1%
うち ファンド報酬	400	8.5%	294	9.3%	73.7%
うち 売却高	3,400	72.3%	1,457	46.2%	42.9%
うち 組合持分利益等	900	19.1%	1,339	42.5%	148.8%
うち その他	-	-	62	2.0%	-
営業原価	2,650	56.4%	1,773	56.2%	66.9%
うち 売却原価	2,200	46.8%	1,219	38.6%	55.4%
うち 評価損・引当	400	8.5%	534	16.9%	133.6%
うち その他	50	1.1%	19	0.6%	39.5%
営業総利益	2,050	43.6%	1,381	43.8%	67.4%
販管費	1,300	27.7%	922	29.2%	71.0%
営業利益	750	16.0%	458	14.6%	61.2%
経常利益	550	11.7%	334	10.6%	60.9%
親会社に帰属する当期純利益	470	10.0%	240	7.6%	51.3%

- ✓ 期初から変更なし、3期連続黒字目指す
- ✓ 第4四半期に株式・再生可能エネルギープロジェクト売却益見込む

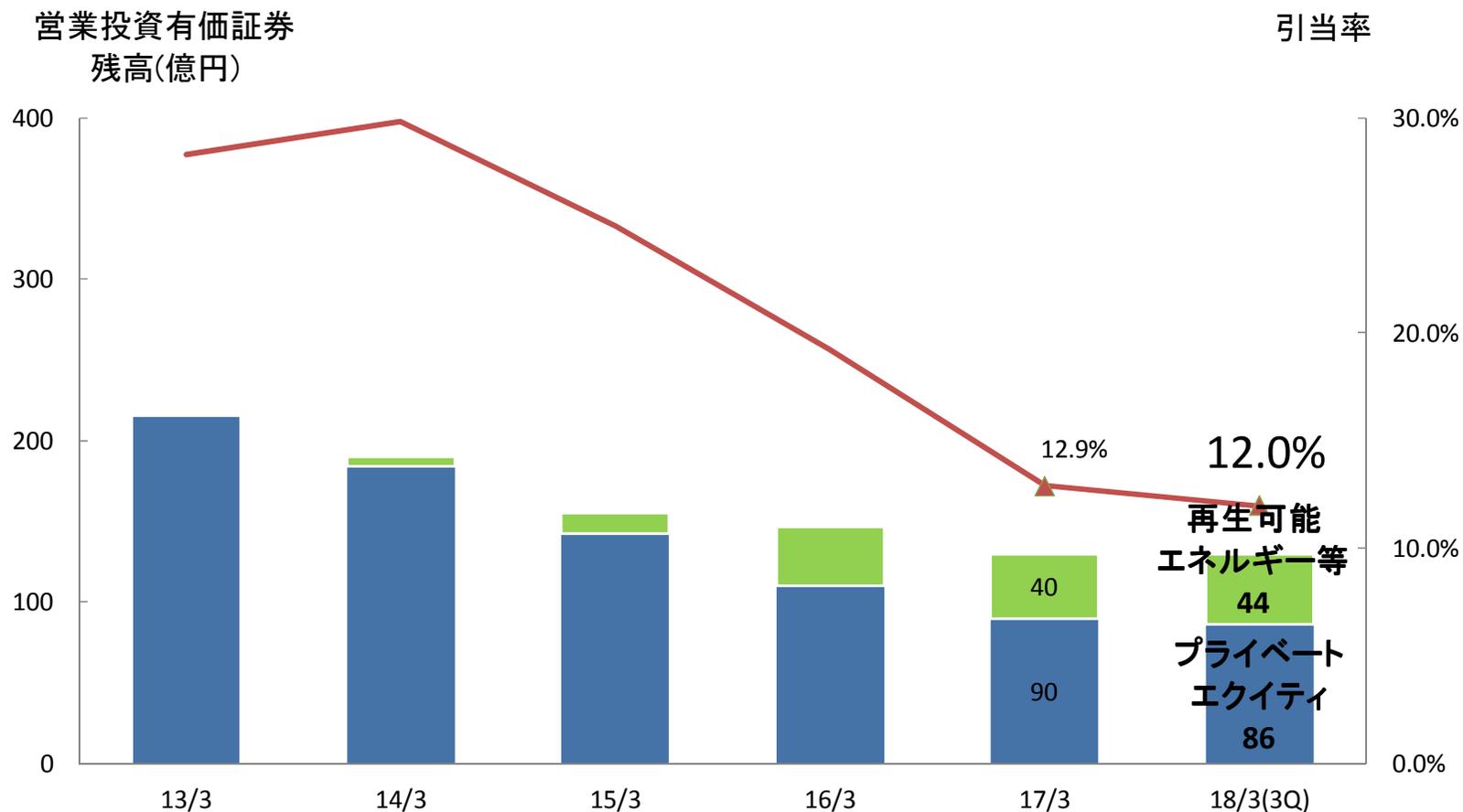
業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。
 様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

5. 参考情報



引当率(従来連結基準)	P26
販管費(従来連結基準)	P27
借入金(従来連結基準)	P28
主要データの推移	P29
営業収益・営業総利益 内訳(従来連結基準)	P31
上場実績	P32
投資残高内訳	P33
収益構造	P34
JAICの強み	P36
取締役	P37
会社概要	P38

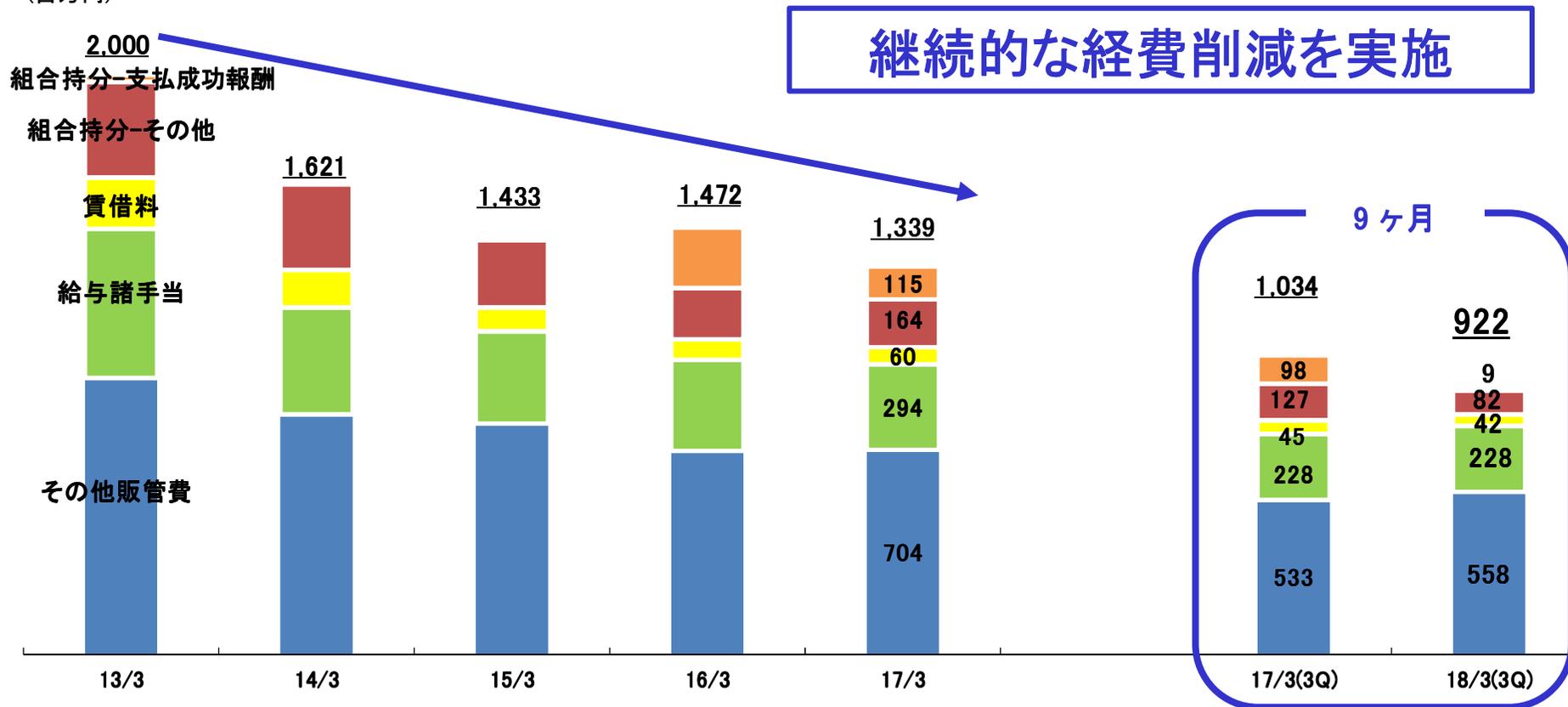
引当率(従来連結基準)



資産の入替が進み引当率が低下

販管費(従来連結基準)

(百万円)

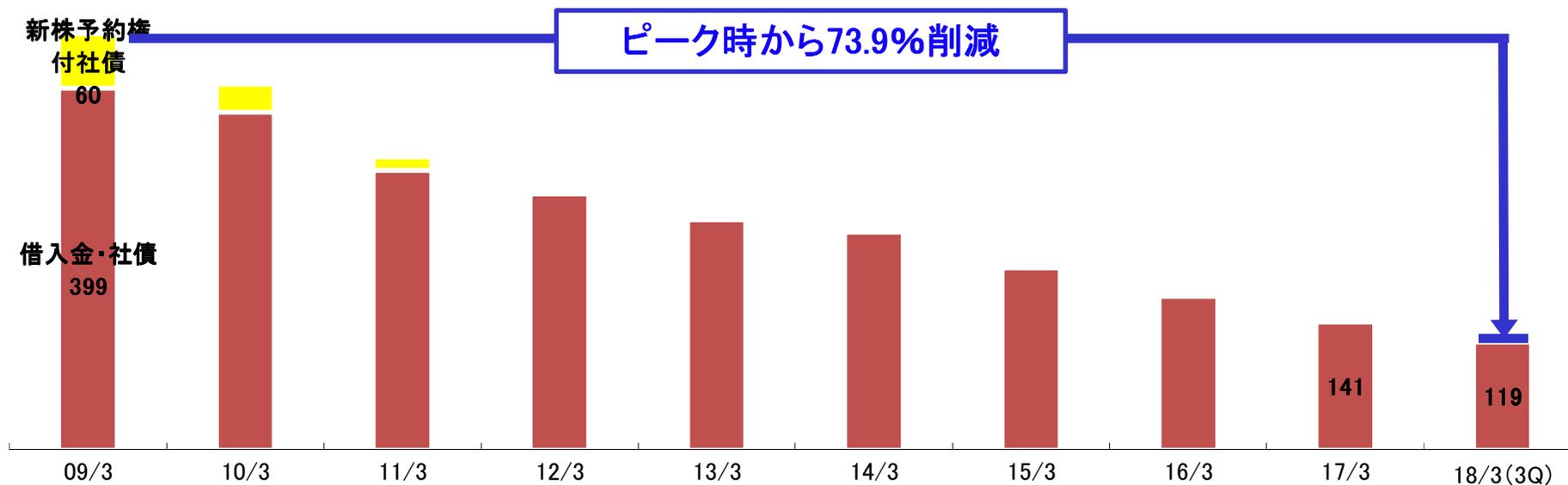


		13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3(3Q)
従業員数	連結	80	46	45	43	44	42
	単体	42	23	25	23	23	24

借入金(従来連結基準)



(億円)



借入金の削減を着実に実施

主要データの推移 ①



・業績、財務状況（従来連結基準）

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3(3Q)
業績						
営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	3,154
営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	1,381
販売費及び一般管理費	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	922
営業利益	△1,823	852	△550	82	836	458
経常利益	△2,612	374	△610	612	726	334
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,575	462	△850	597	553	240
財務状況						
現預金	8,550	10,428	9,437	8,202	6,213	4,559
営業投資有価証券(再生可能エネルギー、他)	–	608	1,337	3,722	4,081	4,466
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ)	15,452	12,380	10,364	8,226	7,356	7,112
借入金・社債・予約権付社債	25,433	24,010	20,193	16,910	14,128	11,954
自己資本	1,565	2,573	3,373	4,976	5,686	5,839
総資産	28,272	27,302	24,396	22,680	20,305	18,612

主要データの推移 ②



・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3(3Q)
ファンド設立・資産増加額	4,548	-	-	5,201	500	1,000
ファンド運用残高	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	23,481
うち 当社グループ出資額				14,004	9,427	7,356
投資実行額	4,746	4,189	2,728	4,093	4,315	3,379
投資残高	33,886	25,862	19,722	18,783	16,558	16,468

営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)

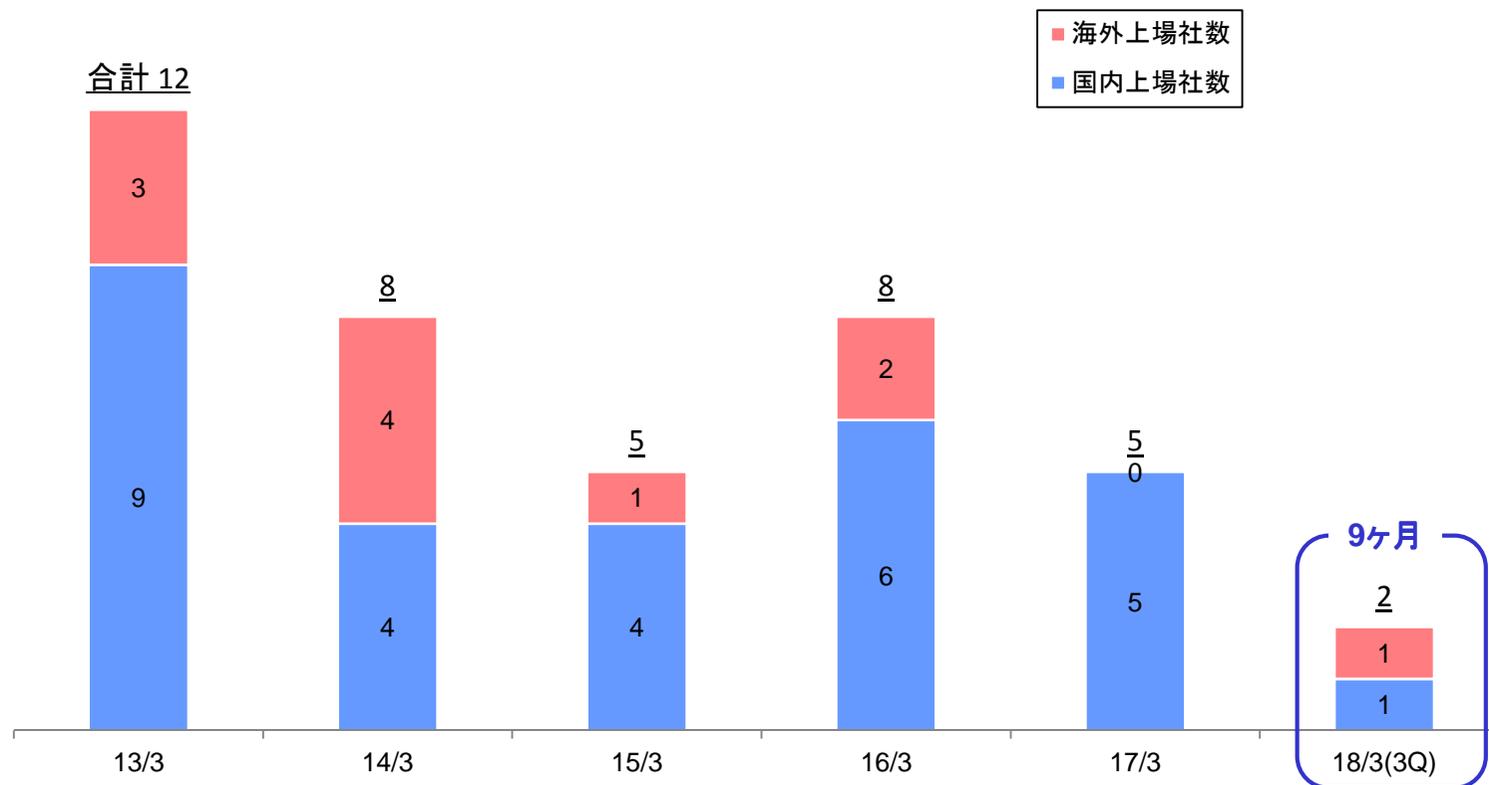


(単位:百万円)		13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	17/3(3Q)	18/3(3Q)	増減率 (%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	815	733	571	441	364	263	208	△21.0%
	成功報酬	37	132	63	288	101	46	86	87.4%
	営業収益	852	865	634	729	466	309	294	△4.9%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	852	865	634	729	466	309	294	△4.9%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	2,135	1,457	△31.7%
	利息・配当収入	95	121	93	49	30	26	34	29.8%
	組合持分利益等	194	357	100	295	1,128	343	1,339	290.3%
	営業収益	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	2,505	2,831	13.0%
	営業投資有価証券売却原価	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	1,363	1,219	△10.6%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	2,038	1,480	1,704	569	274	73	534	626.1%
	組合持分損失等	158	52	168	47	46	13	15	11.5%
	営業原価	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	1,450	1,768	21.9%
	営業総利益	△880	1,468	203	818	1,690	1,054	1,062	0.8%
3.	その他								
	営業収益	229	154	53	13	25	16	27	72.7%
	営業原価	25	15	9	7	6	4	4	△10.7%
	営業総利益	204	139	44	5	19	11	23	107.4%
合計									
	連結営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	2,831	3,154	11.4%
	連結営業原価	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	1,455	1,773	21.8%
	連結営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	1,375	1,381	0.4%

上場実績



上場社数(単位:社)



初値ベース投資倍率

(単位:倍)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3(3Q)
国内	1.5	15.2	4.9	1.7	5.6	3.1
海外	3.4	2.2	1.8	-	-	3.2

・新規上場件数には、14/3は2社、15/3は2社、16/3は2社、17/3は1社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。
 なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率=初値時価総額の合計/取得額の合計

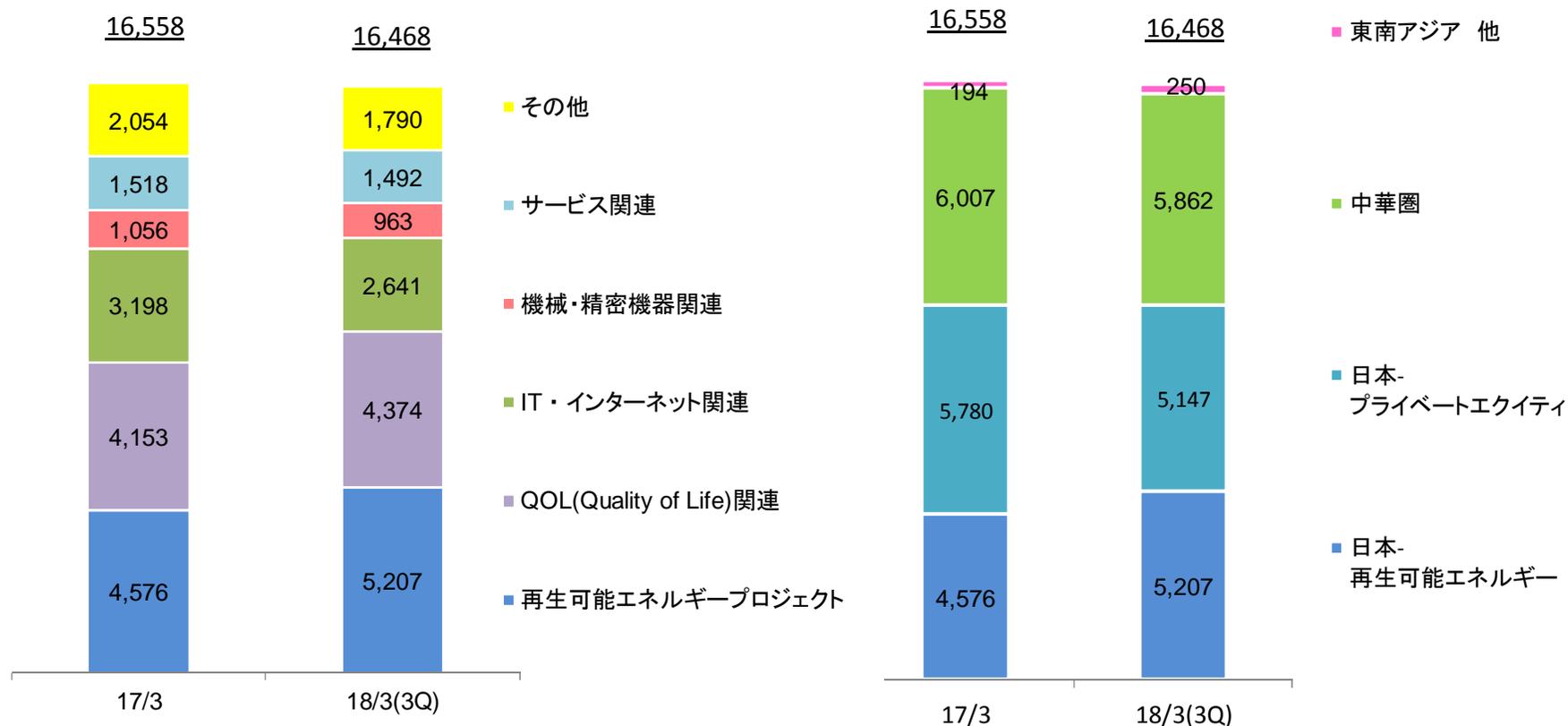
投資残高内訳



◆業種別内訳

◆地域別内訳

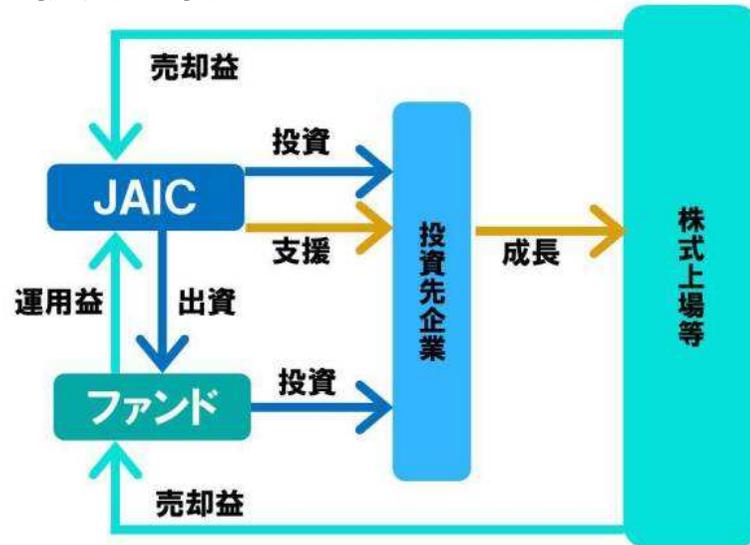
(単位:百万円)



・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。

収益構造 - 投資業務

●投資業務:プライベートエクイティ

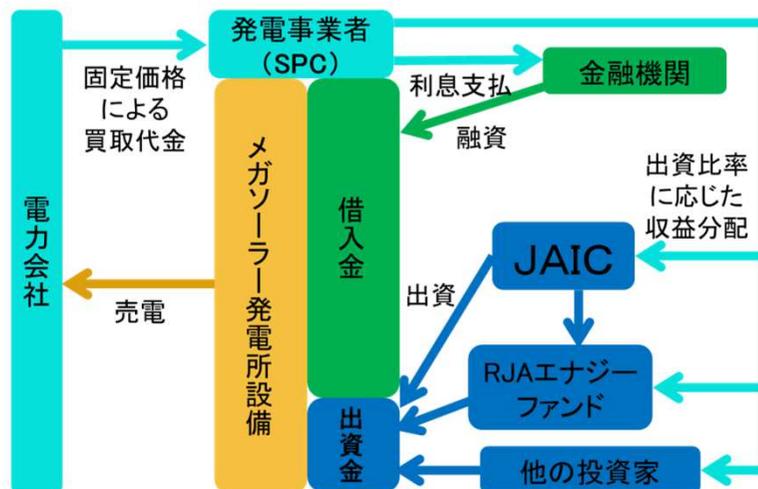


投資資金は、

- ・JAIC自身の手元資金からの拠出
- ・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務:再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・JAIC、ファンド、他の投資家の出資金
 - ・金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

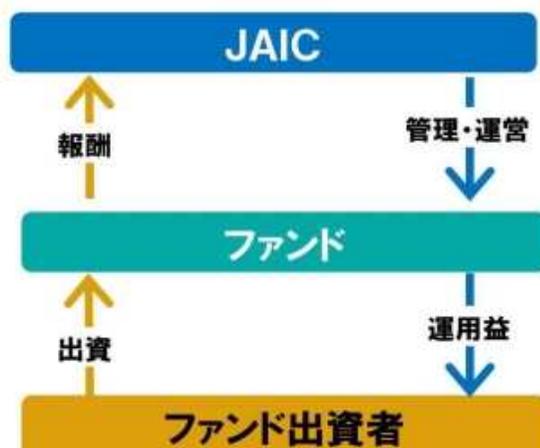
発電した電力は、固定価格で電力会社に買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造 - ファンド管理業務



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務

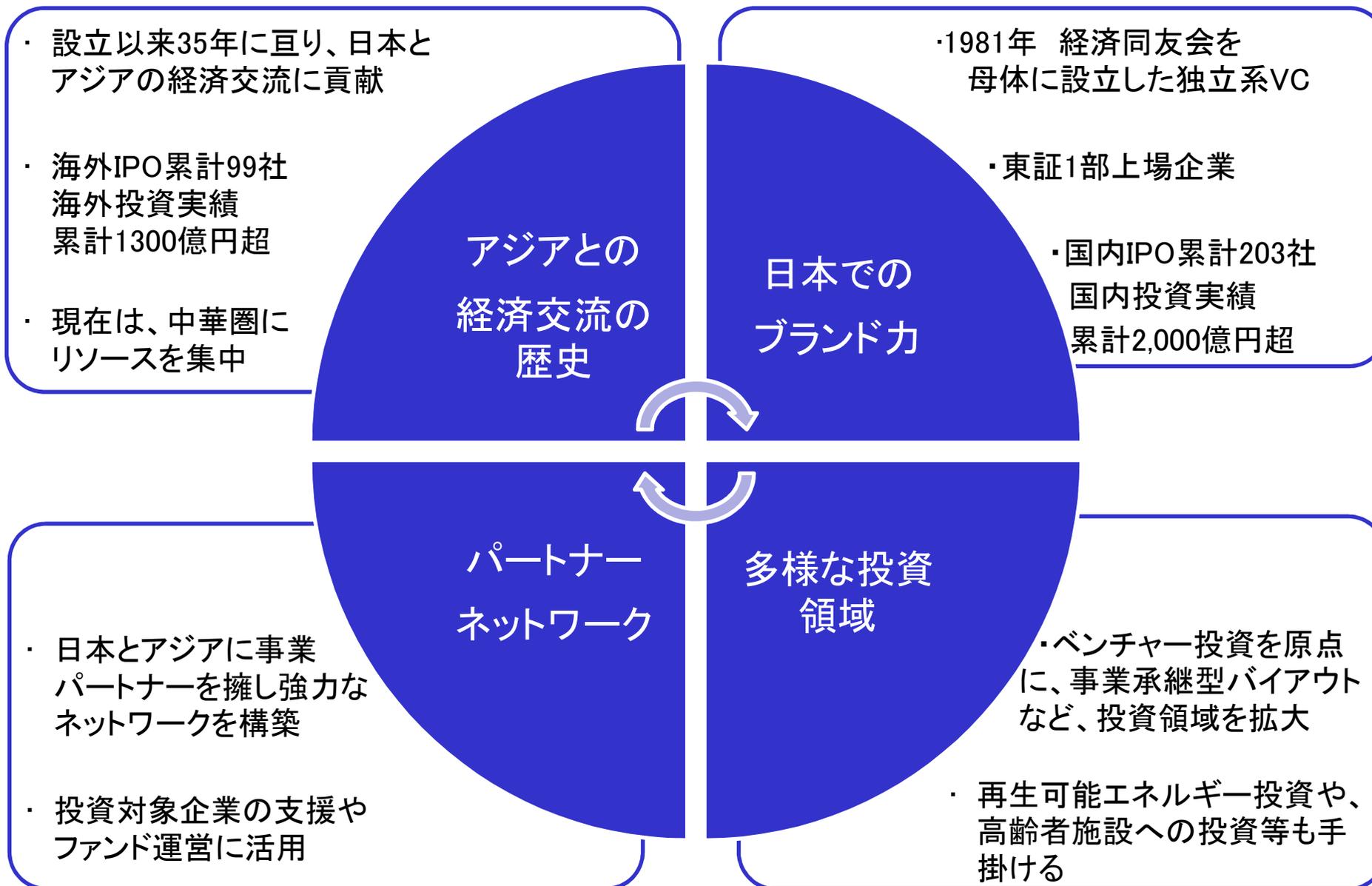


ファンドの管理業務では、

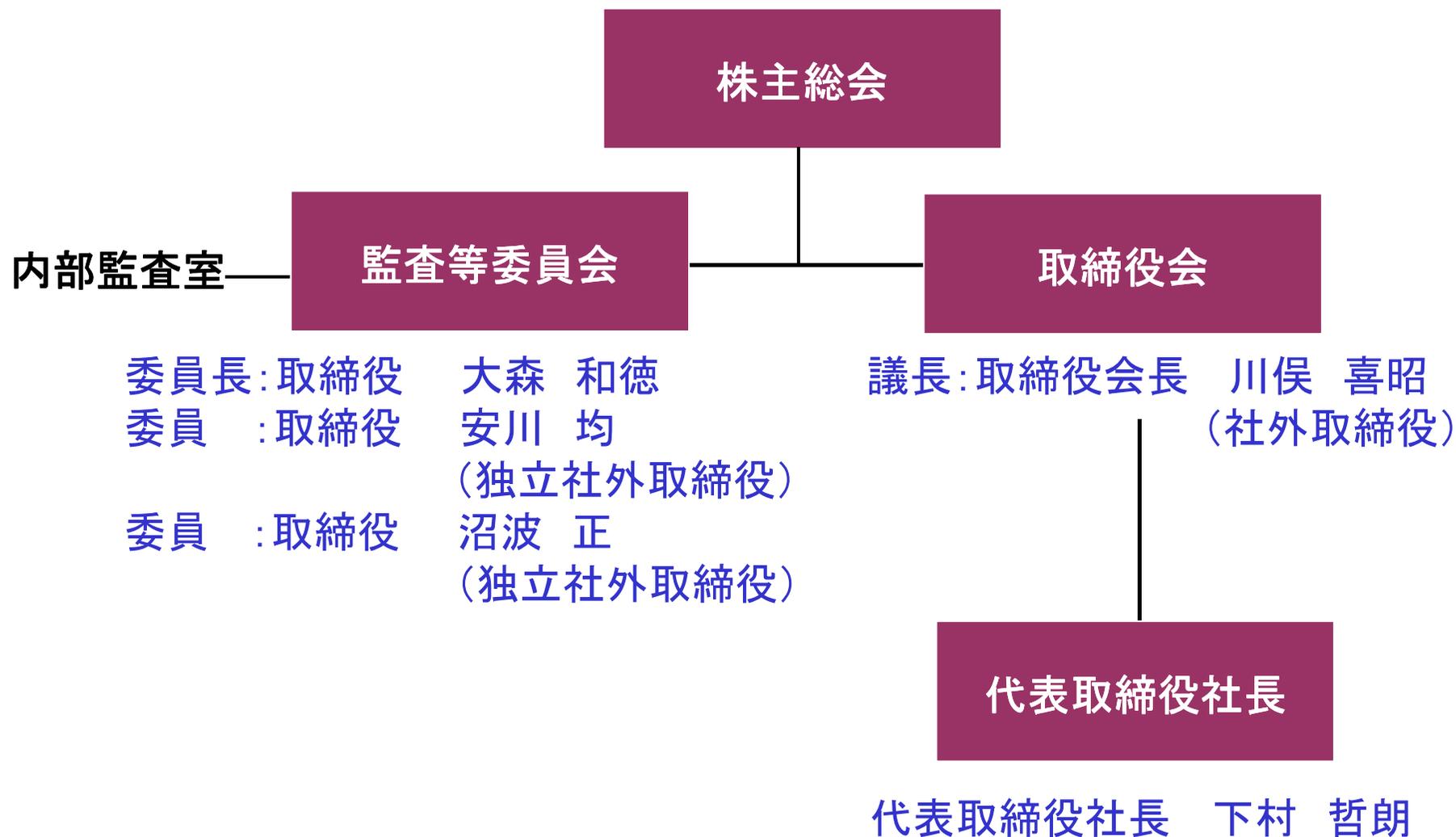
- ・経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

JAICの強み



取締役 (2018年1月1日現在)



会社概要(2017年12月末現在)



商号	日本アジア投資株式会社 (略称)JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8518)
従業員数	単体24名／連結42名
事業領域	<ul style="list-style-type: none">・プライベートエクイティ事業・再生可能エネルギー投資事業・新規投資事業

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。